

## 特集

# ふじさんネットワーク活動アルバム

ふじさんネットワークの事業を通じた、懐かしい思い出や活動で得た経験など1年間を振り返り、会員のみなさんの活動の足跡を見ていきます。

### ○ 活動発表会 (平成15年6月14日 県東部総合庁舎別棟会議室)

ふじさんネットワーク会員が日頃行っているボランティア活動について、苦労する点や成果等を発表し、他の会員がどのような活動を行っているのかを知る機会となりました。



#### 日本野鳥の会南富士支部／影山 秀雄

1996年秋に富士山を通過していった台風によって、山腹の広大な植林地帯が被害を受けました。その後これらの地域には多くの人たちによって植樹活動が行われ、その環境も今は草原から灌木林へと移り変わっているところです。日本野鳥の会南富士支部では2000年から標高1100mにある植樹地域の鳥獣生息調査を実施しています。森林の成長によってそこに住む野鳥や動物たちの暮らしぶりにどのような変化があるのかを記録しています。

### ○ 富士山エコレンジャー活動

富士山に関する法律や動植物等の研修を受けた後、マイカー規制中のシャトルバスや富士山において、マナー指導などの活動を行っています。



#### ふじさんネットワーク会員／柏木 伸夫

富士山エコレンジャーの活動において、子ども連れの母親に「ご苦労様です」とか、若者達から「きっと富士山は世界遺産になれるよ」など声をかけられたこと、そして緑化活動の試験床をモーターバイクに踏みじられてしまったことなど、感動や怒りを覚えた1年であった。しかしながら植物の生活史に興味を持つ者にとって、この1年の収穫は「海外の山々の自然景観を富士山でも一部見ることができる」と登山家の今井通子氏が以前講演会で話されたことを理解できたことだ。来年度はこの富士山の自然景観を来訪者に分け、感動を与える活動をしたい。

### ○ 森づくり事業

富士山の自然の恵みを大切に、後世に伝えるため、動物との共生を図りながら森づくりを進めています。



#### NPO法人富士山自然の森づくり 事務局長／仁藤 浪 ～森づくりを楽しむ 子どもたちより学ぶ～

広葉樹の植付け、下刈り、種子採取と苗場植付け、草取り、ウラジロモミ風倒木の伐採、自生種への竹差しなど森づくりに汗を流しながら仲間と楽しんだ。県3776自然林復元大作戦は真夏の作業であり参加者も森の再生は厳しいと実感されたようだ。次の世代を担う子どもたちに知って欲しいと教室で話し現地を案内して共に自然から学ぶことができると嬉しい。子どもたちは森に入ることにより思わぬ創造があり色々教えられることが多い。

### ○ 富士山みがきあげ作戦

富士山麓のゴミ問題について、実際に清掃活動を行いながら感じた問題点から解決策を検討し、ゴミを捨てさせない仕組みづくりに活かします。



#### 株式会社虎屋 御殿場工場

当社は創業480年の歴史と伝統に培われ老舗として伝統を継承していく中で、地域社会との共生をはかることを環境方針のひとつに定め環境保全活動に取り組んでおります。御殿場工場が実施している道路清掃で毎回感じる事は「見えない場所へのポイ捨て」が多いことです。今後も、社会全体のモラルアップを目指し当社周辺の清掃活動は勿論のこと、富士山での清掃並びに植樹活動に今後も協力して参りたいと思っております。

### ○ 企画部会 (平成15年8月4日、9月18日、12月12日、平成16年2月23日)

ふじさんネットワークの活動の方向性を決定し、会員相互の連携を高めます。また、事業計画や現状の課題などについて話し合いをします。



#### 財団法人柿田川みどりのトラスト 会長／漆畑 信昭

ふじさんネットワークに加入している団体は全て富士山が好きで人々の集まりです。富士山の環境保全は誰も願っています。企画部会はそのような願いをより具体化しようとして設立されたものです。心に思っているだけでは駄目です。皆様の英知を結集し、より実現性のあるテーマに絞り、行動を起こしましょう。後世の人々にあの時の企画部会の人々の努力で富士山環境保全が進むようになったと、いつか必ず評価されると思います。

### ○ 環境教育事業 (平成16年2月17日、18日)

子どもたちにも環境に対する関心を持ち、環境保全活動に積極的に取り組んでもらうための仕組みをつくります。



#### 富士山ナショナル・トラスト 事務局長／花田 文夫

このプログラムは、会社見学を環境問題への取り組みという視点から実施し、子供たちに自分自身の生活のあり方を考えてもらおうというものです。企業、教育委員会、そして、NPO団体との連携で実施できました。企業、学校の先生とそれぞれに刺激を与え、両者のより発展した出会いが実現したのではないかと喜んでます。

### ○ 1年間の活動総括 事務局長／朝比奈 均 (静岡県環境政策室技監)

～まず、実行、そして考え、学び～

皆さんと行動し、話し合う中で、「実践」、「継続」が富士山環境保全活動の原点であることを、改めて感じています。ただ、富士山への思いは同じですが、将来的な活動方向等では様々な意見があります。しかし、ゴミ、湧水保全、森づくりなどに関して当面取り組まなければならない課題は明確であり、まず、現場で行動しながら、その上で、話し合っていくことが必要だと感じています。富士山環境保全に関する「ふじさんネットワーク」の役割がますます大きくなる中、できることを一つひとつ着実に実行しながら、そして考え・話し・調べ、時には学び、活動の輪を広げましょう。